

ICANN GNSOレジストリ部会 (RySG) 及び 新TLD申請者グループ (NTAG) の 最新動向/新gTLDプログラムの最新動向

第36回 ICANN報告会

2013年5月23日

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

遠藤 淳 endo@jprs.co.jp

目次

- レジストリ部会 (Registries Stakeholder Group: RySG) とは
- 新TLD申請者グループ (New TLD Applicant Group: NTAG) とは
- 申請者から見た新gTLDプログラム最新動向
 - 全体スケジュール
 - 申請の取り下げ
 - Clarifying Questions(CQ)
 - 初期審査の結果発表
 - レジストリ契約
 - 2013年版レジストラ認定契約
 - 委任前試験
 - データエスクローエージェント認定制度

レジストリ部会 (Registries Stakeholder Group: RySG) とは(1)

■ ICANNと契約関係にあるレジストリオペレーターが参加

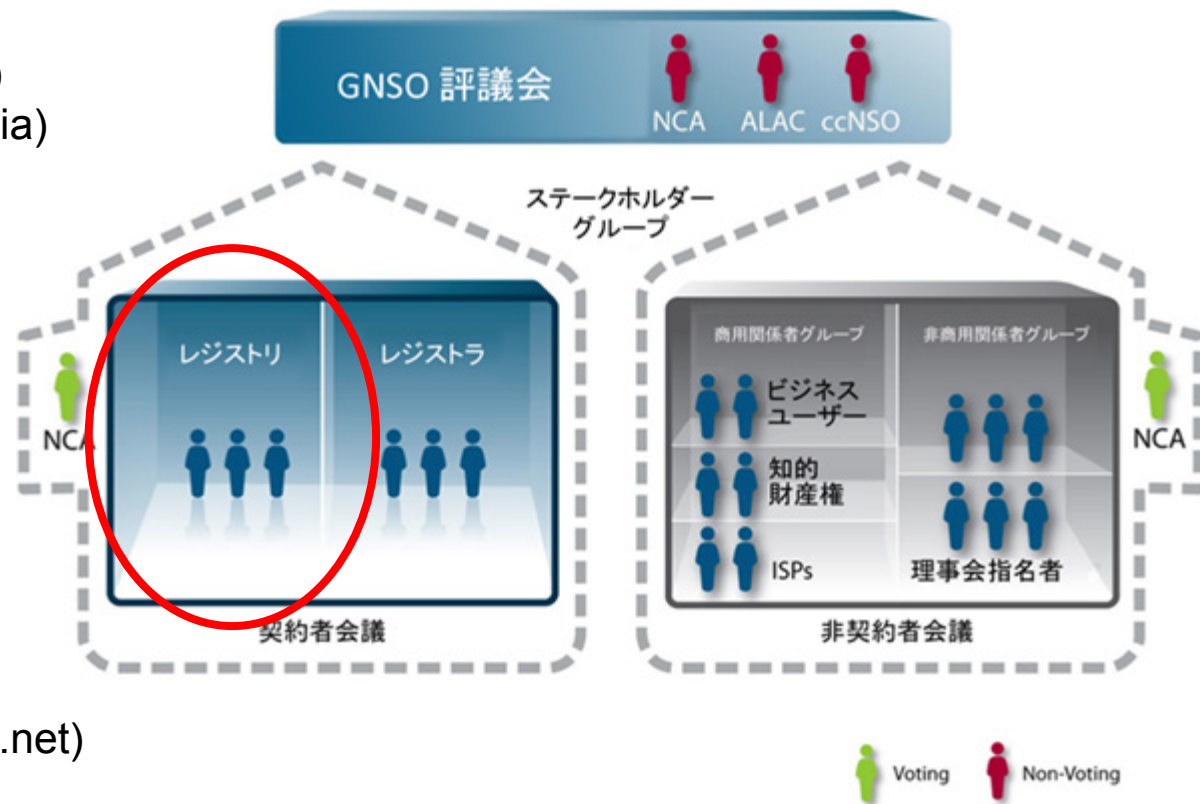
■ GNSOを構成する部会の一つ

■ メンバ (投票権あり)

1. Afilias (.info, .mobi & .pro)
2. DotAsia Organisation (.asia)
3. DotCooperation (.coop)
4. Employ Media (.jobs)
5. Fundació puntCAT (.cat)
6. ICM Registry LLC (.xxx)
7. MuseDoma (.museum)
8. NeuStar (.biz)
9. PIR (.org)
10. SITA (.aero)
11. Telnic (.tel)
12. TRMC(.travel)
13. UPU(.post)
14. VeriSign (.com, .name, & .net)

■ Webサイト

<http://www.gtldregistries.org/>



レジストリ部会 (Registries Stakeholder Group: RySG) とは(2)

■ RySG役員 (2013年5月現在)

Chair	: Keith Drazek (Verisign)
Alternate Chair	: Paul Diaz (PIR)
Treasurer	: Michael Palage (DotCoop)
Assistant Treasurer	: Ken Stubbs (Afilias)
GNSO Council Representative (NA)	: Jeff Neuman (NeuStar)
GNSO Council Representative (EU)	: Jonathan Robinson (Afilias)
GNSO Council Representative (AP)	: Ching Chiao (DotAsia)

■ 会議

- ICANN会合におけるミーティング (火曜日に終日開催)
- 電話会議 (隔週開催)

■ RySGの課題

- 新gTLDレジストリの誕生により、今後、会員が大幅に増えることが見込まれている
- 従来の運営方法からの大幅な転換が必要となるため、将来メンバとなる NTAGメンバを交えたワーキンググループを設置し、各種検討を実施中

新TLD申請者グループ (New TLD Applicant Group: NTAG) とは (1)

■ 2012年6月のICANNプラハ会合で、RySG定款で定められている”Interest Group”として発足。2012年7月以降、メーリングリスト、隔週の電話会議を舞台に活動を開始。

➢ NTAGメンバ=RySGオブザーバーメンバ(投票権なし)

■ 2013年5月現在、101組織が参加。NTAG参加組織による申請の総数は、1,003件。

➢ 日本からは、JPRS, GMOLレジストリ、インターリンクの3社が参加

■ Webサイト

<http://www.gtldregistries.org/ntag/>

■ NTAG役員 (2013年5月現在)

Chair : Jon Nevett (Donuts)
 Vice Chair : Bill Doshier (DotStrategy)
 Treasurer : Tim Switzer (DotGreen)
 Secretary : Krista Papac (Aremi Group)



新TLD申請者グループ(New TLD Applicant Group:NTAG)とは (2)

■ 会議

- ICANN会合におけるミーティング(北京会合では水曜午前開催)
- 電話会議(当初:隔週開催→現在:月次開催)

■ 活動

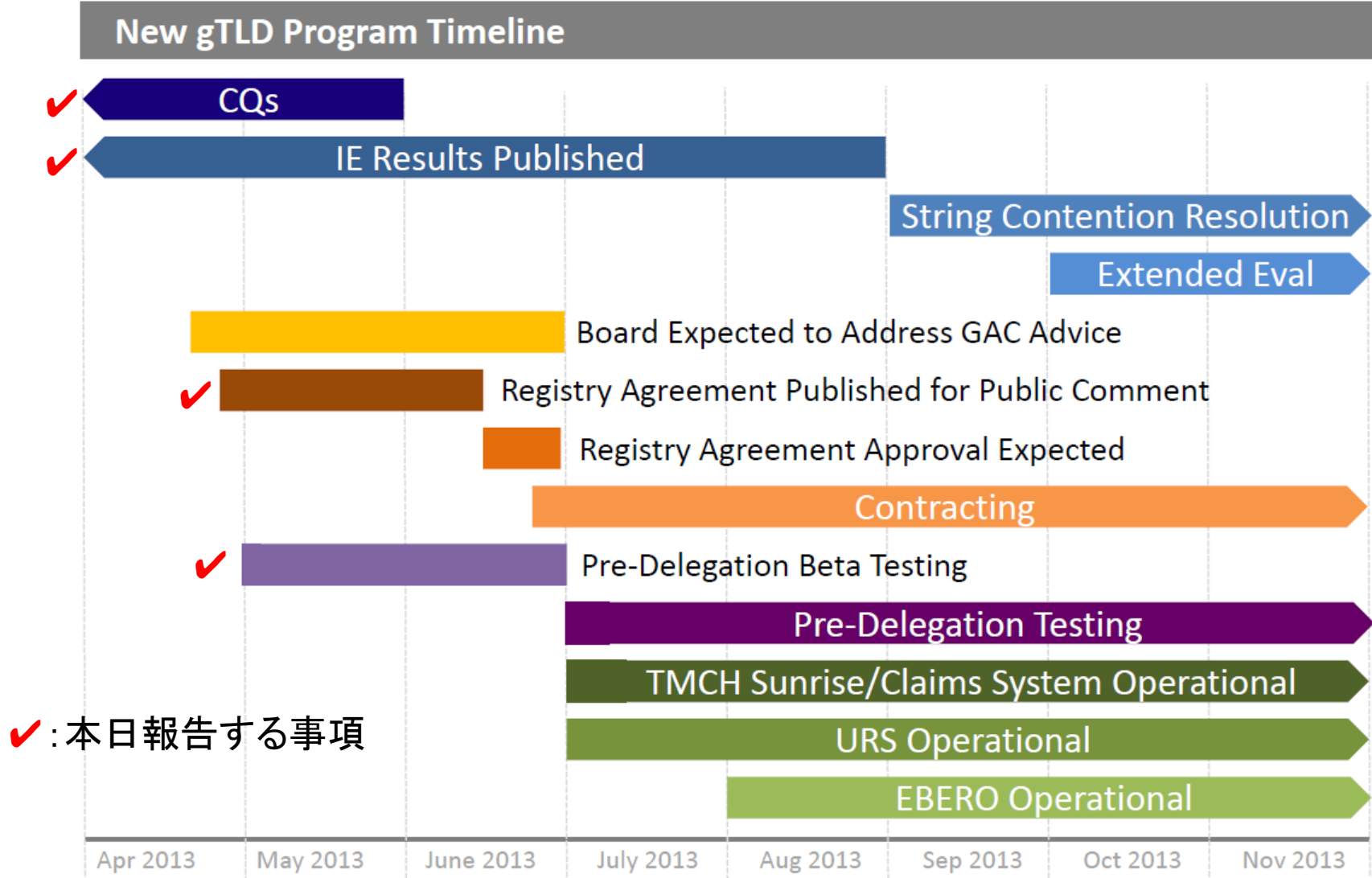
- ニュースレターの発行(及び発行を通じた新規会員の勧誘活動の実施)
➡ <http://www.gtldregistries.org/ntag/newsletter/>
- ICANNへ新gTLDプログラムに関連するレターの送付(9通送付)
- パブリックコメント募集の際のコメント提出(5件コメント実施)
➡ <http://www.gtldregistries.org/ntag/communications/>

■ 特徴

- 様々な立場の申請者がいる中で、グループ全体として意見を集約
 - ✓ 1TLDのみの申請者 ⇔ 数十～数百のTLDの申請者
 - ✓ 会員間での申請文字列競合
 - ✓ 地理的名称/コミュニティ/ブランド等で異なる利害

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～全体スケジュール～

(2013年5月9日 ICANN主催“New gTLD Update Webinar”資料より)



申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～申請の取り下げ～

- 新gTLD申請者ガイドブックでは、以下の申請料の返金ルールが定められている。(Module 1.5.1 “gTLD Evaluation Fee”)

期限	返金率	返金額
GAC早期警告から21日以内	80%	USD 148,000
初期審査発表前	70%	USD 130,000
初期審査発表後	30%	USD 65,000
異議申立処理、延長審査、文字列競合の結果判明後	20%	USD 37,000
レジストリ契約締結後	0%	0

- 初期審査の発表の前と後では、申請者が得られる金銭的リターンが大きく異なる
 - 5月20日現在、1,930申請中、66件が取り下げ。
 - 日本からの申請71件のうち、2件(“.olympus”、”.普利司通”)が取り下げ。

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～Clarifying Questions(CQ)～

■ 明確化のための質問 (Clarifying Questions :CQ)とは

- 審査パネルが審査を行うにあたり、申請書の内容の不明確な点についての確認を行うためのもの
- 合格基準を満たさない可能性のある項目がある場合、回答内容の明確化や添付書類の追加の要請が行われる
- 9割以上の申請者がCQを受領
- 受領後、4週間以内に回答する必要がある

回答内容が不十分の場合は、初期審査を通過できない

■ CQ送付スケジュール

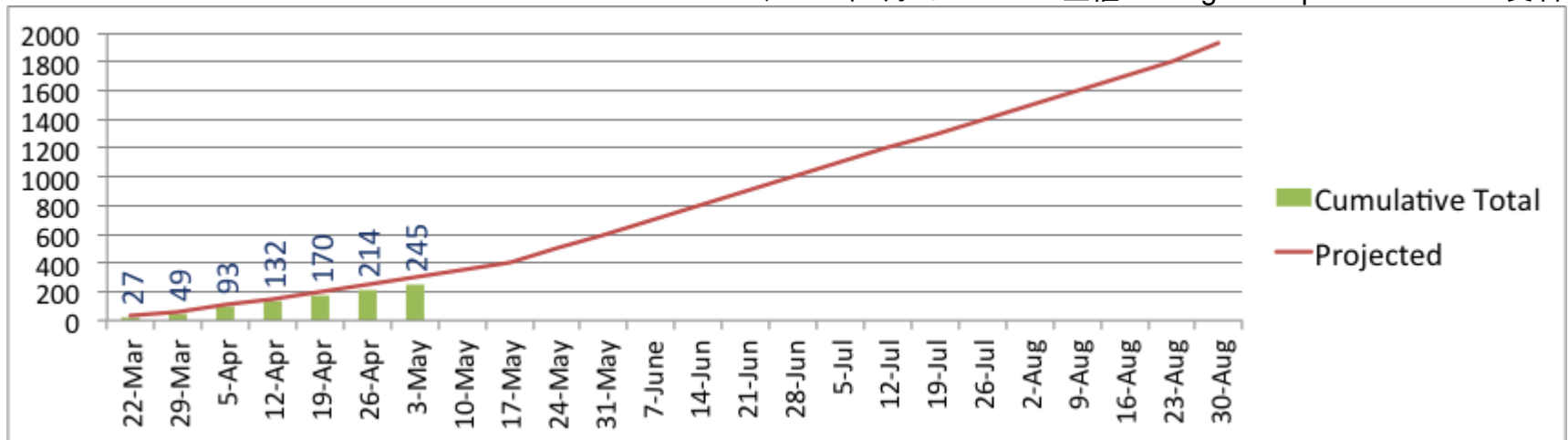
- 2012年12月の「抽選会」で割り当てられた「優先番号」順に、2013年1月16日より、100申請/週のペースで申請者に質問を送付
- 5月22日に全申請者への送付を完了予定

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～初期審査の結果発表～

■発表スケジュール

- 「優先番号」順に発表
- 3月22日～5月17日: 50申請/週
- 5月24日以降 :100申請/週

(2013年5月9日 ICANN主催“New gTLD Update Webinar“資料より)



➡ 8月30日までに全ての申請の結果が発表される予定

■結果

- 5月17日現在、優先番号400番までが発表済。
 - ✓ [合格]:341申請、[不合格]:3申請、[審査継続中]:56申請

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～レジストリ契約～ (1)

■レジストリ契約(案)の改訂案の発表

- 2013年2月5日、ICANNが「レジストリ契約(案)」の改訂案を発表し、コメント募集を開始。

➡ <https://www.icann.org/en/news/public-comment/base-agreement-05feb13-en.htm>

- ✓ 2013年版RAAを締結したレジストラのみが新gTLDを取り扱える旨を定めた「Specification 11」も追加

■2013年版RAA締結レジストラの利用義務が盛り込まれた背景

- 新gTLDにおける登録者及び商標権者の保護、最新技術採用の徹底
 - ✓ 新gTLDレジストリは、レジストリ契約によって、ポリシー/技術の両面で、従来のTLDレジストリよりも厳しい義務事項の遵守を課せられることになる。
 - ✓ レジストリに課されているものと同等の義務をレジストラに対しても課し、ドメイン名の登録に対する信頼性を高める

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～レジストリ契約～ (2)

■ RySG/NTAG有志による「交渉チーム」の発足

- 4月1日にICANNスタッフが「レジストリ契約」の改訂案の第2版を提示。

➡ <http://blog.icann.org/2013/04/revised-registry-agreement-posted-for-review/>

- ✓ 当初、北京会合中(～4月11日)の最終合意と4月23日に最初の契約締結レジストリの誕生を目指していた
 - ✓ 新gTLD申請者として受け入れ難い項目が多数含まれていたため、北京会合中に、RySG/NTAG有志(=新gTLD申請者)によって、「交渉チーム」が組織され、ICANNの担当スタッフとの非公式折衝がスタート
 - ✓ Public Forum(4月11日)にて、Fadi Chehade (ICANN CEO)が北京会合中の最終合意の断念と合意が得られるまで折衝を続けることを明言
 - ✓ 北京会合後も断続的に電話会議にて折衝を継続
- 折衝内容を反映した「最終案」が4月29日に公開された。

➡ <https://www.icann.org/en/news/public-comment/base-agreement-29apr13-en.htm>

■ 今後のスケジュール

4月29日～6月10日:コメント募集期間

6月中旬以降 : ICANN理事会によるレジストリ契約の採択

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～2013年版レジストラ認定契約～

■新gTLDレジストリと2013年版レジストラ認定契約(Registrar Accreditation Agreement: RAA)

- 新gTLDレジストリは、登録サービスを提供するために、2013年版RAAを締結しているレジストラと契約する必要がある。

■2013年版RAA

- ICANN-レジストラ部会交渉チーム間の交渉が、北京会合にて妥結。
 - ✓ 登録情報の正確性の検証実施、Abuse Contact設置、IPv6/DNSSEC/IDN対応の義務化などの新規対応事項を含む
- 合意された「2013 RAA最終案」が2013年4月22日に公開された。

➡ <https://www.icann.org/en/news/public-comment/proposed-raa-22apr13-en.htm>

■今後のスケジュール

4月22日～6月4日:コメント募集期間

6月中旬以降 : ICANN理事会による2013年版RAAの採択

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～委任前試験～

■ 委任前試験 (Pre-Delegation Testing) とは

- 申請組織がTLDの運用を行う能力があるかどうかを確認するために実施
- レジストリ契約の締結後に受験可能
- 合格後、IANAに対してゾーン委任の申請が可能となる
- 主な試験内容

✓ DNS, Whois, EPP, IDN, データエスクロー

➡ <http://newgtlds.icann.org/en/applicants/pdt/>

■ スケジュール

2012年12月

試験実施プロバイダに” Stiftelsen för Internetinfrastruktur (.SE)”を選定

2012年2月～4月

パイロット実施 (参加希望者の申込制: 12の申請組織を対象に選定)

2013年5月～

ベータテスト開始 (ICANNによる招待制: 35の申請組織を招待)

申請者から見た新gTLDプログラム最新動向 ～データエスクローエージェント認定制度～

■ 認定エスクローエージェントの募集

- 2013年3月7日にICANNは新gTLDデータエスクローエージェントの募集要項を発表。

➡ <http://newgtlds.icann.org/en/announcements-and-media/announcement-07mar13-en>

- 「レジストリ契約」(Specification 2)では「レジストリはICANNが承認したデータエスクローエージェントを利用する必要がある」という趣旨の記述が含まれており、これへの対応を行うもの。

新gTLDレジストリはICANNの認定を得ているエージェントの利用が必須

■ 申請者の対応

- 利用予定のエスクロー事業者がICANNの認定を得ているか/得る予定があるかの確認が必要
 - ✓ ただし、2013年5月現在、「データエスクローエージェント」の認定に関するICANNからの情報発表は行われていない。